
花言葉

零光

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

花言葉

【Nコード】

N4029B

【作者名】

零光

【あらすじ】

突然渡された誕生日プレゼント。その花は見たことがなくて筒型の花を咲かせている。何か意味あるのかな…？

「ああ…あれだ。それはつまりプレゼントってもので…。」

6月半ばの午後。

突然呼ばれた私を出迎えた彼が手に持っているのは見た事の無い…
小さめの花。

花は筒型で黄色っぽい色。

で、その花を持っているのは別に大した関係も無いおさなじみのシ
ュウ。

なんだか不思議な気分。

…そういえば…今日って私誕生日か…。

もう誕生日も18回目。

親もなんだかお祝い気分じゃないし、私だって忘れかけてたし。

覚えやすいのは目の前にいるシュウと誕生日が1日違いだって事。

「それで…いきなり何？今まで俺と被るとか言ってプレゼントなんか
くれなかったのにいきなり。それも花なんてシュウにはちよつと
…」

「わあるかったなあ！どうせ似合わないとか言いたいんだろ！分か
ってるし！少しは善意を素直に受け取って女の子らしく喜んだらど
うだ？」

そりゃ似合いませんとも。

で、その花は要するに誕生日プレゼントって物？

「だかあら！そうだったの！…くっそ〜ムードもクソもねえ…せつ

かく…

なんかゴニョゴニョ言ってるよ…。

私どうすりゃいいのかな…。

「とりあえず！これプレゼントだから！…はあ…俺の努力が…」

まあ花屋にシュウが入ってるの想像できないし、その努力は嬉しいけどね。

「あ、ちょっと…この花の名前って…」

「しいらべろっ！」

結局その花を私に渡すとさっさと帰ってしてしまったシュウ。

調べろって…あんたねえ…。

もやもやした気分が晴れぬまま家路について両親からの誕生日特有の祝福を受けつつ、この花について調べてみる事にした。

ただ調べようとしても花なんてどう調べていいものか、名前の分からない花を調べるのは暗闇で物を探すようで…。

「どうやって調べろって言うのよ…シュウめえ…。」

ん？…そういえば直接聞けばいいんじゃない。

簡単な方法はすぐそばの携帯にあった。

「…なっ…なんだよ！花言葉か？だからそれはだなあ…」

花言葉？いや…私はそんなもの以前に花の名前が分からないんです
が…。

「はあ？おいおい…名前かよ！くっそ…。」

くっそって…。

大体花の名前を調べろって言われても難しいと思いませんか？シュ
ウさん？

「…もういいや…なんか疲れたよ…全く…すいかずら。もう俺寝る
からな。」

切られた。

携帯のディスプレイでは時刻は10時過ぎ。
相変わらずシュウは早寝だなあ…。

で、この花の名前はすいかずらと。

…そういえば花言葉がどうか言ってた様な…。

花言葉ってどんな花にもあるのかな？

スマレは…誠実とか？

結局私はパソコンのモニター上に花専用の検索ページを開いていた。

ええっと…すいかずらと…。

パソコン上には色々な花の宣伝やらプレゼント用の花、様々な花が
モニター上で綺麗に咲いている。

咲いている…って言うのはおかしいかな？

でもそんな綺麗な花よりも数行の文字列の方が私には強く目に浮かんだ。

すいかずら
忍冬

説明書きには季節とかそんな解説があるが、花言葉の欄にはなんとも強烈な文章が。

献身的な愛、愛の絆

…愛って…。

いや…遠まわしって言うか…何て言うか…。

これって遠まわしな告白…？

…わっかりにつくいなあ…。

結局。

私はその絆も感じないままこのすいかずらを受け取ってしまった。それでも、嬉しいものは嬉しかった。

花なんか貰う機会も無かったし、男の人に貰うのは初めてだから。

そんな次の日、シュウの誕生日に私が渡した花。

すいかずら。献身的な愛。

（後書き）

忍冬^{すいかずら}、献身的な愛。

素晴らしい花言

葉ですよね。薔薇^{ばい}みたいで情熱的なもの。

でも今

回みたいなのは薔薇よりも忍冬の方がイメージがしっくりしたので。

そんなイメージで作られた今回の文章で

すが、何か感想とか評価とか苦情とかありましたら気軽に指摘お願いします。それでは。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4029b/>

花言葉

2010年12月1日08時06分発行